

第二二七回ペン川柳会

令和五年四月二十四日

お題 「新・新しい」

■ 稲宮（井波）

いなみ

広告を 有料で買わず 新聞社
指踊る スマホ片手に 新世代

■ 塚田（拿々）

ただ

新卒が マスク外して 妍競う
新築後 海外赴任 いつ帰る

■ 曾山（酪帝）

めいてい

わが人生 「新」のつく字と 縁が切れ
八十路でも 新米として 扱われ

■ 山縣（安兵衛）

やすべえ

選挙では 新しい国 皆築き
新鮮な 味と言われて はまりけり

■ 三春（火酒）

ウオッカ

麒麟児も豚児も同じランドセル
ジジババが 治験モニタで ひと稼ぎ

■ 浜田（我々好）

ウイスキー

革新派 あれも無料化 これも無料化
新人類 老いさらばえて 今老害

■ 八木（明迷）

めいめい

残り香は 新横浜の 崎陽軒
シンの文字 付けば流行るね 知らんけど

■ 安藤 (晃二)

てるつぐ

女房も 終に悟れり 古畳に
新米美味 その夢健気 頼もしや

■ 松谷 (零門)

れいもん

回転の 追加メニューに 「廃油」あり
大きめの 制服証す 新入生

■ 大野 (だし)

新しき 令和に何が 起こるやら
新米、新酒 新女房 新春期待

世話人 塚田 實 (拿々)

だだ